

デジタルアーカイブ推進事業

令和8年度 第2回

ウチナーの 民話上映会

テーマ『鳥』

2026年

日時

11月8日(日)

15:00～16:00 (開場 14:30)

会場

1階 博物館講座室

受付

当日先着 (定員80名)

参加費

無料

お問い合わせ

098 - 941 - 8200

《今回のゲスト》

しまくとぅば演劇集団比嘉座

今回のウチナーの民話上映会では、しまくとぅば演劇集団比嘉座とコラボレーションし、八重山諸島で語り継がれている「ゴカリ鳥(アカショウビン)のはなし」を、っさぶむに(石垣島白保の言葉)で演じていただきます。

※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。

※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

【キーワード】

#博物館 #しまくとぅば #民俗 #民話 #アカショウビン
#ヒバリ #カラス #ウズラ #しまくとぅば演劇集団比嘉座

あなたの沖縄に出会う



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



【開館時間】 9:00 - 18:00 (金・土は 20:00 まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)

プログラム

第1部 民話が舞台に飛び出す！「ゴカリの鳥の話」

「うちなー民話のへや」で紹介している「ゴカリ鳥の話」が、しまくとうば演劇集団「比嘉座」によって楽しいお芝居に大変身。鳥の衣装や舞台ならではの表現にも注目です。耳で聞いて、目で見て、沖縄の民話を楽しみましょう！

しまくとうば演劇集団比嘉座：2008年結成。しまくとうばによるオリジナルの演劇を各地で上演している。

第2部 民話上映会～沖縄に伝わる鳥のおはなし～

今回の民話上映会は、沖縄の島々に伝わる「鳥」のお話を集めました。各地の鳥に関する話を、再話しまくとうば、共通語、話者の語りでご紹介します。

《再話しまくとうば》での上映



石垣市白保

ゴカリ鳥はうりずんの季節になると南の島からやってくる。世果報を持ってくる鳥だから、村の人たちは提灯をつけて、明かりをつけて迎えるというお話。

《話者の語り》での上映



多良間村字塩川

ウズラたちが卵を抱いている野原が野火で火事になる。仲間のウズラが逃げようというが、母ウズラは卵を守る、ひなを守るという逃げない。助かった親子は浜で祝いの歌を歌うお話。

《共通語》での上映



竹富町竹富

天の神様が雲雀を呼んで、茶碗に入った若水を人間に届けろといい付ける。雲雀は野イチゴを食べるのに夢中になり……。ハブが脱皮し、人間は髪と爪だけ生え替わる理由。



竹富町竹富

若いカラス達が、死んだ牛を食べに行こうと話している。古いガラスが牛の左の角は残しておけといったので、おいしいにちがいないと若いカラスたちが堅い角を突いている間に、古いガラスが飛んできて……。



大宜味村田嘉里

昔、カラスは赤い色で、コハル（アカショウビン）は黒い色をしていた。コハルはカラスを水浴びに誘い、カラスの脱いだ赤い服を着て逃げる。カラスは仕方なくコハルの黒い服を着たので、今も黒いというお話。

※「うちなー民話のへや」では民話コンテンツ80話に対して、共通語、再話しまくとうば、話者の語り、音声記号の4バージョンの動画を作成しています。再話しまくとうばとは、話者の語りを基本にして、しまくとうばを再録音したバージョンとなります。

WEBアーカイブ

ウチナー民話のへや

おきみゅー web サイトの「ウチナー民話のへや」では、当館が収蔵している約 33,000 話の民話のうち、80 話の動画コンテンツをお楽しみいただけます。

動画の再生パターンは4種類！同じ民話をしまくとうばや共通語などの語り口で楽しむことができます。

また、地域別やお話の種類別など民話の情報を自由に検索できるデータベースシステムもご利用いただけます。



アクセスしてみてね！

